



コース管理からのお知らせ

昨秋～今春まで使用されていた A グリーン（ベント）のコンパクションの数値が 25.5～26（山中式土壤硬度計）を記録しました。硬く締まったグリーンでボールもよく転がりますが、芝の根の生育が硬さにより妨げられる数値となります。4月にこの数値を下げる「エアレーション」という作業を行いました。

エアレーションは中空の金属のパイプをグリーンに打ち込んで、芝を抜き取る作業です。芝の間引き、古い根の抜き取り、土壌中のガス抜き、透水性向上など様々な効果があります。

5月はベントグリーンにとってベストシーズンとなり、利用頻度が高くなると共にコンパクションも上昇するため、日々の巡回で数値が「24」になったらグリーンに穴を開けるだけのエアレーションを行いました。穴が開いていても翌日のプレーに支障が出ないようエアレーションのパイプを変更して対応致しました。



エアレーション作業状況



ドローンによる測定の様子

6月はBグリーン（バミューダ）の更新作業となります。バミューダグリーンにとって夏はトップシーズンであり、梅雨時期に水も入って芝の伸びが旺盛になりますが、この更新作業で夏に向けた根の充実を図ります。

3月に実施したドローンによる測量データを元に、ラフの伸長エリアに伸長抑制剤を散布します。これによりラフの伸びを抑えてロストボールの発生を軽減し、スムーズなラウンドが出来るよう努めて参ります。

6番ホールのエノキですが、エノキが植樹されている場所は必要な客土が不足しているため土壌の保水能力が低く、加えて昨年8月は高温乾燥が続いたことで土壌への水分供給がありませんでした。

エノキは本来水分を多く好む性質がある樹木ですが、土壌の水分不足により今春の萌芽時期は遅くなっており、芽数も少なく枯れ枝が多く見られます。

エノキの樹勢回復対策として、萌芽時期の臨時灌水および土壌改良工事を計画しております。水分を吸収できる根が分布する半径5mの部分、縦横75cmにわたって完熟バーク堆肥、保水材、コンポストを混入して土壌を改良致します。



6番ホールのエノキの萌芽（4月撮影）

新理事決定のお知らせ

5月16日（日）に、新理事を以下の通り決定致しました。

理事長	佐藤 壽	
副理事長	鈴木 文俊（キャディ特別委員会委員長）	
理事	前田 通孝（フェロシッパ委員長） 福島 静雄（競技委員長） 石山 啓治（コース委員長）	新任・長谷川 淳（ハウス委員長） 新任・川口 一晃（ハンディキャップ委員長） 新任・原島 智恵子（キャディ特別委員会副委員長）

新理事長 佐藤 壽様よりご挨拶



このたび理事長を務めることになりました。会員の皆様の様々なニーズを丁寧に汲み取り、なお一層、質の高いサービスとコース環境の提供がなされ、会員の満足度が更に高まっていくように努めて参りたいと思います。

特にこれからはシニアやレディースのゴルファーにも優しいゴルフコースづくりが求められると共に、幅広い世代が集い、誰もが和やかに、心地よく一日を過ごすことの出来る「品質と品格」を兼ね備えたクラブライフが醸成されていかなければなりません。鳩山カントリークラブの「社会的な評価と地位の向上を獲得するための挑戦」が、一日でも早く地域の名門ゴルフ場として確かなものになるように、私たち一人ひとりが心をついに、その思いを共有していきたいと思ひます。微力ではございますが、会員各位のご支援とご協力を頂きながら、クラブ発展のために努めていく所存です。何卒よろしくお願い申し上げます。

第1回スクラッチ杯

4月25日（日）に第1回スクラッチ杯を開催致しました。順位は右の通りです。皆様のご協力のおかげで無事に競技を進行することができました。

優勝	向山 和徳
準優勝	田中 俊行
3位	生澤 良太

関東倶楽部対抗 埼玉第2会場予選

2021年5月18日（火）にさいたまゴルフクラブ様にて関東倶楽部対抗埼玉第2会場予選競技が開催されました。23クラブが参加する中、鳩山カントリークラブは第9位の結果となりました。



関東女子倶楽部対抗 埼玉会場予選

2021年5月24日（月）嵐山カントリークラブ様にて関東女子倶楽部対抗埼玉会場予選競技が開催されました。26クラブが参加する中、鳩山カントリークラブは第9位の結果となりました。



関東倶楽部対抗予選競技は、男女ともに第9位でした。沢山のご声援をいただきありがとうございました。